

第2回 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会（要旨）

会 議 名	第2回杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和4年6月24日（火）午後2時00分～3時47分
場 所	神明中学校 体育館
出 席 者	懇談会委員22名（欠席6名）
傍 聴 者	名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第1回懇談会の主な意見等について 3 計画地の概要について 4 改築基本方針（たたき台）について 5 事務局からの連絡事項
資 料	<p>【事前配布資料】</p> <p>資料1 杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会委員名簿（差し替え）</p> <p>資料2 第1回懇談会の主な意見等</p> <p>資料3 計画地の概要</p> <p>資料4 アンケート</p> <p style="padding-left: 2em;">（1）神明中学校の特徴</p> <p style="padding-left: 2em;">（2）神明中学校の改築に期待すること</p> <p>資料5 改築基本方針（たたき台）</p> <p>参考資料1 用語の解説</p> <p>参考資料2 改築基本方針を作成するにあたり考慮した主な計画・指針等一覧表</p> <p>【当日配布資料】</p> <p>参考資料 神明中学校区地域教育推進協議会だより「神明の杜通信」</p>

委員	<p>本日は杉並区立神明中学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の出席状況ですが、6名からご欠席の連絡を頂いております。あと1名、途中からのご参加とのご連絡をいただいております。</p> <p>本日は第1回と同様に、およそ2時間を目安に進行できればと思います。進行にご協力をお願いします。暑いですから、もしも早く終わるの</p>
----	---

	<p>であれば、なるべく早く終わりたいなと思っていますので、ご協力をよろしくお願いします。</p> <p>それでは、配付資料の確認を事務局からお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>皆さん、こんにちは。学校整備課教育施設計画推進担当係長でございます。資料を確認させていただきます。</p> <p>まず次第と資料1の名簿ですが、漢字の誤りがありましたので、修正いたしました。大変失礼いたしました。</p> <p>資料2が「第1回懇談会の主な意見等」。</p> <p>資料3が、A3でカラー刷りの「計画地の概要」。</p> <p>資料4が、アンケートを取らせていただいたもので、A4カラー刷りで両面のもの。</p> <p>資料5が、カラーで「改築基本方針（たたき台）」になります。</p> <p>参考資料1としまして、「用語の解説」。こちらは、前回のアンケートの中で、言葉が分かりにくいというお話がありましたので、用語集として配付させていただきました。</p> <p>参考資料2としましては「改築基本方針を作成するに当たり考慮した主な計画・指針等一覧表」ということで配付させていただいています。</p> <p>今、カラーの冊子「神明中学校区地域教育推進協議会だより『神明の杜通信』」を配付させていただきましたので、こちらも併せて御覧いただければと思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
委員	<p>資料の過不足等、大丈夫でしょうか。</p> <p>さて、今回の神明中改築の基本設計策定に当たって、設計事務所にお手伝いをさせていただくことになりました。今回から懇談会にも同席してもらっています。</p> <p>簡単に自己紹介をお願いします。</p>
佐藤総合計画	(設計事務所自己紹介)
委員	<p>それでは、次第の2番「第1回懇談会における主な意見等について」ということで、資料2について事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料2を御覧ください。「第1回懇談会の主な意見等」ということで、簡単にまとめさせていただきました。大きく5つに分けて、まず施設関係について。</p> <p>地域に開かれた学校づくりをしながら、生徒の安全にも配慮した配置であるとか、余裕を持った校舎を作ってほしい。</p> <p>学校は教育のためだけではなくて多目的な施設であってほしい。</p>

	<p>あと便利過ぎない、でも、それが使えなくなったときも機能できるような学校。</p> <p>5番目として、いつの時代にも快適に、創造的に使えるような学校。</p> <p>6番で、共用できるスペースが欲しいということ。</p> <p>あと校地が不整形でも、メリットのある使い方ができる学校になれば、ということがありました。</p> <p>2番目の安全・安心、防災等につきましては、防災関係であるとかバリアフリー対応を図ってほしいというご意見があったと思います。</p> <p>地域関係につきましては、神明中は地域とのつながりが財産であるということや、地域活動ができやすいように、外部から出入りができる部屋を作ってほしいといったご意見があったと思います。</p> <p>意見聴取・情報提供といたしましては、生徒や先生の意見も聞いてほしいということ、あと近隣への情報提供を密にしてほしいというご意見があったかと思えます。</p> <p>あと工事中の対応としては、生徒の負担を軽減してほしいというご意見や、工事中の近隣への配慮というご意見もあったと思います。</p> <p>前回皆様にご協力いただいたアンケートの中で、ご質問が3つほどあったので、お答えさせていただければと思います。</p> <p>まず説明会についてなのですが、保護者と地域の方と別々に実施をいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に懇談会ニュースの配布範囲につきましては、今回参加いただいている町会に、掲示板と回覧板を回す数の分についてお送りいたしますのと、あと神明中学校、今回参加いただいている小学校等には児童数に応じた数をお送りさせていただきます。</p> <p>近隣につきましては、敷地境界から大体50メートルぐらいの範囲でポスティングをして情報提供に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>3番目が用語の説明で、学校で使われている「サタスタ」や、「チューター」、「神明塾」、「神明クラブ」という言葉がどういうものかというのをもう一度説明してほしいという話がありましたので、委員から補足いただければと思います。</p>
委員	<p>「サタスタ」ですが、土曜日の勉強会ということで、定期テストの前に地域の方を外部講師として、生徒たちが土曜日に来て、そのときにいろいろ質問をしながらテスト勉強をします。大体2時間ぐらいです。</p> <p>今回もやりましたけれども、大体40名程度参加してくれています。</p>

土曜日にテスト勉強で、そのときに質問等を受ける。講師は外部の人が協力してくれているということです。

「チューター」ですが、チューターの用語は「ティーチングアシスタント」、学習の手助けをしてくれる人あるいは補佐という感じで、本校では、配慮を要する生徒とか勉強が苦手な生徒もクラスの中にはいますので、授業の中でその手助けということで、これも地域の方が教えてくれたり、あるいはノートをこうして書きなさいとか、いろいろ助言したりということで、授業中に「チューター」ということで入っています。

あるいは不登校生徒がなかなか1日学校に来られないというときに、例えば給食だけとか、あるいは1時間だけとか、話をしに行きたいというところの手助けもこの「チューター」ということで、外部の方の手助けで、外部講師ということでやっています。これが「チューター」です。

「神明塾」に関しては、毎週水曜日の3時から勉強が苦手な生徒、勉強の仕方が分からない生徒を対象に、これも地域の方を外部講師として、今のところ2名に定期的に来てもらっているのですけれども、時には大学生が手助けしてくれたりというのもあります。そこで、勉強の仕方とか分からないところの質問を受けたりとかそういうことで、勉強の手助けということで、毎週定期的に「神明塾」ということでやらせてもらっています。

「神明クラブ」ですが、今、文科省のスポーツ庁から、部活等は地域に委託していきたいという考え方が出たのですけれども、神明中は大分前から「神明クラブ」という名称で、これも外部指導員ということで、技術的なことの指導などをやってくれています。地域の方の手助けで部活動を運営していくというか、部活動で生徒にいろいろなことを教えてもらっている。そういうふうな「神明クラブ」ということです。

現在はサッカー部、バスケット部、バドミントン部、そして美術部、吹奏楽部に関しては地域の方が教えに来てくれたりということを含めて、今そういう活動をしているということです。これが「神明クラブ」です。

以上です。

今、私から説明させてもらいましたけれども、何かご質問等はありませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、続きまして校舎改築の検討を進めるに当たり、基本的な敷地条件を整理したほうがよいと思います。本日は資料3「計画地の概要」がついていると思います。設計事務所から説明をお願いいたします。

<p>佐藤総合計画</p>	<p>それでは、設計事務所からお配りしております資料3「計画地の概要」について説明いたします。</p> <p>改築に当たりまして、基本的な情報として神明中学校の敷地に係る関連法令と周辺環境、既存施設の概要についてまとめた資料となっております。</p> <p>最初に、左上の「①用途地域・地区等」の都市計画図について説明いたします。地図の方位につきましては、上が北となっております。</p> <p>こちらは杉並区で定めている都市計画となっております、地域ごとに用途地域が指定されております。</p> <p>神明中学校とその周辺地域は、左下の凡例にあります薄い水色の第一種低層住居専用地域となっております。この第一種低層住居専用地域は低層住宅の良好な環境を守るための地域とされておりまして、その地域の中には住宅及び小規模な店舗、事務所を兼ねた住宅、小中学校などが建てられる地域となっております。</p> <p>次に、左下の基本情報のご説明をいたします。</p> <p>敷地面積、用途地域につきましては記載のとおりでございます。</p> <p>その下の指定建蔽率、指定容積率につきましては、こちらも用途地域で定められておりまして、指定建蔽率が50%、指定容積率が100%となっております。指定建蔽率は、敷地の面積に対しまして、建築物を真上から見たときに占める建築面積の割合の制限となっております。指定容積率は、敷地面積に対しまして、建築物全体の延床面積の割合の制限となっております。</p> <p>次に防火地区ですが、神明中学校の敷地は全て準防火地域となっております。防火地域指定の趣旨としましては、市街地における火災の危険を予防するために定められた地域となっております、杉並区のほとんどの地域が準防火地域に指定されています。</p> <p>次に高さ制限ですが、第一種低層住居専用地域では10メートルとなっております、原則この地区で建てられる建築物の最高高さは10メートルまでとなっております。この高さを超える建築計画を行う際には、許認可などの申請手続が必要となっております。</p> <p>次に高度地区につきましては、第一種低層住居専用地域では第一種高度地区となっております。高度地区は北側の斜線制限に該当するもので、北側の隣地への圧迫感をなくしまして、日射ですとか採光、通風などを保護するために定められております。</p> <p>次に日影規制です。規制の趣旨としましては、建物からできる影が周</p>
---------------	---

	<p>辺の土地に一定時間以上かからないように規制しまして、日射の環境を確保することを目的としています。第一種低層住居専用地域では3時間から2時間と定められておりますが、この内容につきましては後々の建築計画の中で改めてご説明させていただきます。</p> <p>続きまして、右上の「②周辺環境」につきまして説明いたします。</p> <p>神明中学校は四方が対面通行の道路に囲まれておりまして、北西部が神社に面しております。</p> <p>次に学校の出入口につきまして、白い三角形で示しております4か所となりまして、南東側の出入口が正門となっております。</p> <p>神明中学校の周辺写真を①から⑥に載せておりますが、各撮影ポイントにつきましては上空写真の①から⑥に対応しております。</p> <p>続きまして、右下の「既存施設の概要」について説明いたします。</p> <p>左表にある敷地面積、校舎面積、運動場面積、体育館面積については記載のとおりとなっております。</p> <p>次に、周辺道路について説明いたします。</p> <p>敷地北側は幅員7.2メートルの道路に面しておりまして、道路が東から西に向かって若干高くなっています。</p> <p>敷地東側の道路につきましては、幅員5.0メートルの道路に面しています。道路につきましては、北から南に向かって若干高くなっていくような地形になっています。</p> <p>敷地南側は幅員4.55メートルの道路に面しておりまして、東から西に向かって若干高くなっていきますが、その先、西に向かって低くなっていくという地形になります。</p> <p>敷地西側は幅員8メートルの道路に面しております。</p> <p>この周辺道路と敷地の間には高低差がございまして、運動場の高さをプラスマイナスゼロとした場合に、道路が20センチから35センチ、約階段2段分ぐらい低くなっている状況です。</p> <p>次に既存の建物についてですが、西側にある体育館が最も古く、昭和34年築の建物となっております。次に古い建物が東側にある教室棟と管理教室棟で、昭和36年築となっております。最後に、一番西側にあるプールにつきましては、昭和40年築となっております。</p> <p>「計画地の概要」の説明は以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局より補足説明があるとのことですので、よろしく願いいたします。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>資料3の左上の都市計画図を御覧ください。</p> <p>旧駐在所のところを少しへこんだ形で表記させていただいているところですが、現在こちらの土地につきましては何らかの権利関係取得の契約手続を進めているところですので、確定いたしましたら皆様にご報告させていただきます。手続が終わりましたら、一体の形での整備を進めると考えているところです。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>それでは、何かご質問等がありますでしょうか。ありましたら、お願いいたします。よろしいですか。</p> <p>それでは、本日のメインテーマであります「改築基本方針（たたき台）について」、事務局から資料の説明をしてください。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>資料は、資料4と資料5と参考資料2を使います。ちょっとばらばらして申し訳ないですが、よろしく願いいたします。</p> <p>まず、資料4を御覧ください。前回アンケートを取らせていただきまして、12名の方から返信いただいたのと、1名の方からお電話でご意見を頂きました。どうもご協力をありがとうございました。こちらをまず御覧ください。</p> <p>アンケートの1個目が「神明中学校の特徴」ということで、皆様からご意見を頂いたところです。</p> <p>大きく3つに分けて、「学校関係」は自主・自律、自由な校風や伝統というようなことですか、あと5番目で、様々な小学校から生徒が集まり、偏りがなく、新しい人間関係を築くことができるということや部活動が盛ん。</p> <p>あと7番の「7号事由」というのは、学校の特色ある教育活動に参加を志望する場合、大体15名の方が入れるのですが、例年定員以上の希望者を維持しているということ、区内でも比較的高い学力といった教育環境等があるというご意見を頂いています。</p> <p>「敷地・周辺環境」につきましては、「良い点」という部分ですと、閑静な住宅街ということと、あと神社と隣接しているということがございました。逆に「悪い点」として、敷地が狭い・不整形ということ、夜暗くなると人气が少なくなって寂しい、神社が隣なので窓から虫が入ってくるというご意見もございました。</p> <p>3つ目は「地域とのかかわり」ということで、こちらは大変熱い記述がございました。</p> <p>まず、町会とのつながりが深いということや、幾つもの町会に支えられ見守られている。支援本部等の活動も支援本部・神明クラブなど、地</p>

域との関わりが深いことや、部活動に地域の方が参加されている。あと神明祭を挙げている方も多数いらっしゃいました。同窓会が非常に組織化されていて、活動も活発であるということ。それ以外にも、近くにNPOや任意の活動団体が多い土地柄ですというご意見がございました。

裏面を御覧ください。アンケート（２）「神明中学校の改築に期待すること」ということで、私のほうで分類させていただいたきました。コンセプトに関することで、全てを読み上げませんが、地域の教育力というような「地域」「まち」というワードが非常に多かったこと、年齢を問わずみんなに来てもらえる学校ということや、自由度が高くて、長期で使える学校がいいのではないかと。狭い敷地を考慮して、優先順位をつけた施設というのにも必要ではないかというご意見もございました。

外観・配置等について、神社のみどりを活かしたレイアウトであるとか、シンプルな外観、どこか懐かしい感じのする外観というご意見などがございました。

真ん中に行ってください、教育環境としては教室の十分な確保ですとかスペース、図書室を中心とした設備の充実、ICT環境の充実などのご意見。

あと体育館・校庭については、狭い敷地でも可能な限りスペースを確保してほしい。テニスコートや、体育館にも音響施設等を整備してほしいというご意見がございました。

工事中の対応としては、改築工事中も運動や場の確保をしてほしいというご意見がございました。

資料の右側に、防災や地域関係ということで、災害時にも対応できる拠点となる学校ということで、４つほど挙げられております。

さらに、地域の中で開かれた学校ということで、どなたでも来られるようにバリアフリーやユニバーサルデザイン、生徒の安全を確保しつつ、地域とつながれる構造であるとかゾーニング地域の人も使用できる部屋の確保をしてほしいというご意見がございました。

続きまして、参考資料２に行ってくださいよろしいですか。

改築基本方針というのは、もちろん神明中の改築ということもそうなのですが、区として改築するに当たっては様々な計画や指針等を考慮しながら校舎をつくっていくところです。

その中で主なものとして、一番上、文部科学省からこの３月に「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」の最終報告が出されまして、「ビジョンと５つの姿の方向性」が提示されました。

ビジョンとしては「Schools for the Future」ということと、5つの姿の方向性「学び」「生活」「安全」「環境」「共創」ということで、それぞれございます。

これらを基にしまして一段下の「中学校施設整備指針」、「学校施設整備指針」ともいいますが、こちらが新たに改訂されるということですので、最新の文部科学省の考え方はこの一番上の考え方になります。

また区としても今回「杉並区教育ビジョン」が変わりまして「みんなのしあわせを創る杉並の教育」、また取組の方向性として3つ上げられています。地域に関する部分については、「学びのプラットフォーム」という考え方が打ち出されたところです。

もう一つ下の「杉並区立学校施設整備計画」、前回資料でも配付させていただきましたが、こちらでも学校施設の目指すべき姿として、国の方向と同じような5つの分け方をしているところでございます。

また、改築基本方針を策定するに当たっては、こういった骨格的なものに神明中の考え方や、皆様から頂いたご意見をエッセンスとして組み合わせるという形で策定するようになっております。神明中関係のものは、記載のような形でまとめたところです。

長くなりましたが、最後に資料5の改築基本方針を御覧ください。

資料5の「改築基本方針（たたき台）」についてご説明させていただきます。こちらは大きく3つに分けております。

ビジョン1は教育に関すること。ビジョン2が環境や安全に関すること。3つ目が地域に関することという形でまとめてございます。

まずビジョン1は「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した、柔軟で創造的な学校」という形でビジョンを作成させていただきました。

こちらについて簡単にご説明させていただきますと、国からも学びについてはこういった考え方が提示されているところなのですが、「個別最適な学び」というのは、今回コロナでタブレットが非常に普及したこともありますけれども、それ以外も個々の生徒の興味や関心に基づいた授業であるとか、特別支援学級等、「個別最適な学び」を充実させていこうという方針。あとコロナがあって、逆に対面で授業をすることの大切さであるとかすばらしさといったものもあり、協働的な学びと一体的にやるのが今後目指すべき方向というところがあります。また、委員の中にも教育の専門家の方がいらっしゃいますので、こういったご意見をアンケートでも頂いたところなので、このような形でまとめさせていた

いただきました。

ビジョン2については環境、安全ということで、『神明の杜』にふさわしい、環境に優しく、安全で快適に過ごせる学校」ということでまとめさせていただきました。

今回こちらの方針をまとめるに当たって、アンケートの中に地教推の考え方を入れたらどうだという意見がございました。所管している学校支援課と話をしたところ、今日お配りした「神明の杜通信」というのが発行されることを知りまして、「神明の杜」という言葉を使えないかという話を担当としていたところでした。

ビジョン2に入れるのか、3のほうがいいのかというところはあったのですが、先ほどの資料3の写真にもありますように、神明中の周りはとても緑が豊富で、地域という部分もありますけれども、「神明の杜」という言葉は自然も象徴しているところもありますので、ビジョン2に使用させていただいて、このようにまとめさせていただきました。

ビジョン3は『学びのプラットフォーム』として、地域に開かれ、地域と共に行動する学校」ということ。

「学びのプラットフォーム」は今、杉並区の教育委員会で提示している地域に関しての各校の考え方ですので、こちらをベースに、あとアンケートで「地域に開かれた」とか「地域に大切にされた」といった言葉が非常に多かったことと、アンケートの中で「行動する」「活動する」「実践する」「主体的な」といった前向きの表現が非常に多かったので、それを表現するにはどうしたらということで、「共に行動する学校」という表現とさせていただきます。

大きな考え方としては、この3つでございます。

それぞれのビジョンにぶら下がる形で、ビジョン1ですと目標Ⅰ、Ⅱ、Ⅲということでまとめさせていただいております。

全てご説明はいたしませんですが、特に目標Ⅰについては、委員の方から同様のご指摘があったというところでまとめさせていただきました。

目標Ⅱについては、自由度が高いとか、いつの時代でも使えるというご意見がありましたので、このようにまとめています。

目標Ⅲについても、教職員や地域の支援者の方が活動しやすいというご意見があったので、このようにまとめました。

それぞれの取組について、例えば取組Eのところだと「シンプルで施設の維持管理がしやすく、こころの故郷となる校舎（まなびや）」ということで、アンケートの中でもどこか懐かしいとか、そういうご意見

	<p>があったことと、それを体現するにはどうしたらいいのかと考えたところ、「こころの故郷」というのは神明中の校歌の1番の最後のところにもありますので、その用語と、喜びの歌という、最初に校舎ができたときに地域の方が作られた歌の中に「校舎（まなびや）」という言葉がありましたので、校舎の改築と絡んでいますので、その表現を用いたほうがいいかなということで、このようにさせていただきました。</p> <p>ビジョン2につきまして、目標は2つ。「周辺環境と調和した学校づくり」というところで、取組Hのように神社と閑静な住宅街というのがキーワードとしてありましたので、それにプラス敷地の特性をメリットとして生かす学校ということ。あとSDGsという流れもありますので、「省エネや自然エネルギーなど持続可能で環境に配慮した施設計画」を取組として挙げさせていただいています。</p> <p>目標Vについては「安全・安心で居心地の良い生活空間としての学校づくり」ということで、地域の方に開かれている学校ですので、生徒と一般利用者の動線の区分けが今後の配置計画で重要になってくるということ。あと震災救援所になりますので、地震等の災害に対する安全性を確保するというところで書いております。</p> <p>目標VIについては「学校の伝統と特色を活かし、世代を超えた交流・学び合いの活動を支援する学校づくり」ということで、誰でもという話がありましたので、そのような表現にさせていただきました。</p> <p>目標VIIは、防災に関するご意見は非常にたくさんございましたので、「地域の防災拠点として十分な機能を備えた施設整備」ということで、このようにまとめさせていただいております。取組について記載のとおりでございます。</p> <p>長くなりましたが、たたき台についての説明は以上になります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局から「改築基本方針（たたき台）」について説明がありました。様々な要素が出ておりますが、このたたき台を基に基本方針の肉づけを行えるように、さらに意見を交わしていきたいと思います。</p> <p>まずは、どれもこれもというとなかなか意見が出づらいというか、意見しにくいというか、整理できなくなりますので、まずは「基本方針（たたき台）」の「ビジョン」と「目標」についてご意見をお願いいたします。その後に「取組」について議論を交わせればと思います。それぞれ30分程度を目安にしたいと思います。</p> <p>それでは、「ビジョン」と「目標」について、今、参考資料から全て</p>

	<p>説明がありましたが、何かご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>なかなか抽象的で難しいところではあるとは思うのですが、一応アンケートの神明中の特徴を捉えながら、こういう基本方針で校舎改築をしていくという「ビジョン」と「目標」なのではあるのですが、いかがでしょうか。教育の部分と環境、安全の部分と地域の部分に分かれていますので、ご意見を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>意見がないということで、今日欠席された委員からコメントを頂いていますので、読み上げさせていただければと思います。</p> <p>様々ある中で、「ビジョン」「目標」というところでいいますと、現在の社会情勢ということで、文部科学省では部活動を段階的に地域に移行するという旨の提言を公表しています。その際、人材、財源の確保などはどの自治体でも共通の課題です。現在の学校の機能をアウトソースする際も、神明クラブのようなお互いに感謝し合う関係づくりの基盤は重要であると考えています、というようなこと。</p> <p>あと、方針についてのご意見といたしまして、今の学校機能の幾つかが地域住民を含む外部に委託されることが不回避の流れです。それゆえ、どちらかというとな常に教員、生徒以外の学校関係者が校内にいる状態を前提とした施設計画を考えていただけたらというご意見を頂いております。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の中の学校ということで、地域の方も学校に協力していきたいという気持ちの表れではなのかなと思います。</p> <p>今、実際に先ほど説明したような神明クラブ、世間で「地域総合型スポーツクラブ」という文言が出ていますけれども、地域の人材、地域の方に部活動とかいろいろなものを中心にやっていただく。そのためにはお金とかいろいろな課題はあるのですが、地域の方にも今と同じように中学校に関わってもらって、いろいろなことをやっていく。</p> <p>「学びのプラットフォーム」という言葉がありましたけれども、それだけではなくて、「地域総合型スポーツクラブ」ということを意識してというところも、委員の意見からいうと入れてもいいのかなというところではあるのかなと思います。</p> <p>なかなか言いにくいとは思いますが、ビジョンと教育に関して、たたき台ですのでこれで決まりではないので、ご意見を頂いて、これからこういうことではどうでしょうかということで、次の提案につなげていくということです。固く考えなくても、ざっくりばらんに言ってい</p>

	<p>ただくと大変ありがたいのです。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>抽象的な部分なのでなかなか話が進まないのだと思うのですが、僕は町内会から来ていますので、新しい地域の町内会もしくは地域と学校との関係がどうなっていくのだろうなということが大きなテーマだと思います。</p> <p>今、学校開放という格好で校庭を開放していただいたり、あるいは教室を開放していただいているのですが、もっともっとそういったものが進むにはどうすればいいのか。つまり、新しいそういうビジョンはどこにあるのか。多分その辺りから入っていかなければならない。</p> <p>神明中の震災救援所は、ほかに比べてかなり進んだ状態なのですね。それでも、そういう状態の中でどうしたら震災救援所としての機能をもっともっと上げられるか。新しい校舎改築のときに、ただ校舎が新しくなったよではなくて、役割、機能が、このところが今まで不便だったけれどもこうなったよ、やっぱり良くなったねということで、そういうところをしっかりと詰めるための準備がないと。</p> <p>今、町内会でも震災救援所等の準備をしていますけれども、そういう具体的なものを踏まえながら、新しい地域と学校との関係はどんなふうになっていくのだろう。恐らく学校の中のこともあるので、それは僕らは詳しく分からないのですけれども、地域と学校との関係の新しいビジョンに基づく校舎の構造と思います。</p> <p>前も桃二小には外から使える教室があるよという話をしましたけれども、災害時には安全の問題もあるので、どこで遮断するかということも含めて、遮断しやすい利用の仕方も含めて、もとへ戻って地域と学校という教育機関の建屋があるのですけれども、その利用の仕方を新しいビジョンとともに考えていくと。抽象的すみません。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のご意見に関してどうでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見をありがとうございます。確かに「ビジョン」「目標」というのは抽象的になりがちのところはありますけれども、こういった考え方を基に今後、第4回、第5回以降で配置計画であるとか、中のゾーニングというのですか区分けをどうやっていったらいいのかというのを考えるようになります。</p> <p>例えば配置、ゾーニングということですと、「取組」のほうに入ってしまうけれども、例えば取組Gですと「PTAや学校支援本部をは</p>

	<p>じめ学校運営や教育を支える支援者の活動に配慮した施設計画」ということや、取組Jも「生徒と一般利用者の導線の区分け」、取組Mも「多様な利用者のためにユニバーサルデザイン」「地域開放の際のセキュリティに配慮した施設計画」ということで、災害時にまずどういう区切り方をして、どうやってその次のフェーズで開放していくのかとか、そういうことがしやすい配置計画であるとか、ハードでいうとそういうことがあるのかなと思います。</p> <p>あと実際の運用部分については、震災救援所運営連絡会でお話いただいていると思いますし、また新しいハードの中で、どうやっていい運営をしていくのかというのがあるのかなと考えているところです。</p>
委員	<p>まずは基本方針を決めていって、これから具体的に地域の関係がうまくいくためには、どういう校舎の配置にしていくのか、あるいは何をつくっていくのか。いろいろなことを含めて、これから細かくやっていく。その前にこういう取組をしていきますよという基本方針ということでご理解いただければと思います。意見を頂いて、それを参考にこれからいろいろなことで造っていければと思います。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>たたき台のほうを拝見させていただいて、すごくまとめるのが大変だなと思いました。</p> <p>先ほど校長先生から上がってきた神明クラブとの関係、それから今出てきた例えば地域の防災活動とか、そういった町会との関係を考えたときに、これは新しい校舎をつくるためのたたき台であるから、学校をベースにしてしまうということは理屈として分かるのです。</p> <p>だけど、ここからが問題なのです。果たして70年前に新制の中学校ができたときに、学校と地域というものを並列して考えることはあったのでしょうかというところです。</p> <p>それがある時点から、地域との交流、地域との関わり合いというのを実は学校が断ち切ったのです。なぜかという、面倒くさいからです。その発想があったので、実はこの20年ぐらい学校は大変なのです。もう一回まちの方たちとの関わり合いをつくり直していくという作業に入っていって、今に至っているわけです。</p> <p>ですから、例えばこれから80年先のことは、僕はいつも分からないといつも言っているのですけれども、恐らく学校が新しい社会の中での流れに入ってくるような気がするのです。そのときに常に学校を主体として考えるだけではなくて、まちの中に学校があるのだという発想に切</p>

	<p>り替えないと。学校の周りにまちがあるのではなくて、まちの中に学校があるのだと。</p> <p>そうすると、先ほど出てきたビジョン3の「学びのプラットフォーム」というところの主体を、抽象的ですけども、学校から地域、まちのほうにも比重を持っていてもいいような気がするのですね。</p> <p>その中で、例えばセキュリティの問題とか、取組の中でいろいろ出てくるかもしれないですけども、将来的なことを考えた、長い目で見ていった学校とまちとの関係って何なんだろうというところを、もう少し余裕を持った計画として立てるべきではないかと思います。</p> <p>学校を主体だけにするのではなくて、まちも考えていったほうがいいということです。そのためには神明クラブであるとか地域との活動、学校との活動をもっともっと考慮すべきなのではないかと思います。</p> <p>以上。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>ビジョン3に関して、地域ということももっともっと意識しながらの表現というか、そういうことを入れてもいいのではないかというご意見だったと思います。</p> <p>今みたいな感じで、ご意見を頂ければ。こういうことを入れたらどうかなというか、こういうことを意識して、どうかなというところと言っていただければ。たたき台ですので、またいろいろな案を出せるかなというところだと思います。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>ちょっと質問です。</p> <p>ビジョン1の冒頭の「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」ということが書かれていますが、「個別最適な学び」と「協働的な学び」がいま一つ分からないのでご説明いただけますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>「個別最適な学び」というのは学習指導要領を読む感じになってしましますが、「指導の個別化」と「学習の個性化」という観点で整理をされているということで、児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるようなことが重要だということで、最近ですとタブレットを使うような形で、一人一人に合わせた授業であるとか、特別支援学級での取組であるとか、それ以外にも児童生徒の興味・関心等に応じた目標を立てて授業を行っていったほうがいいのではないのかというのが今の文部科学省等の考え方になっているということでございます。</p> <p>「協働的な学び」というのは、一人一人だけではなくて、集団でやる</p>

	<p>ことによさというのでしょうか。一人だけではなくて相互関係によって刺激を受けることであるとか、教えられる中で学ぶところもありますので、そういった「協働的な学び」というのはそれぞれではなくて、それらが一体的に絡み合っていてやっていくというのが今の教育として目指す方向だということだと思います。</p> <p>どなたか補足していただける方は、お願いします。</p>
委員	<p>なかなか分かりづらいところなのですが、「個別最適な学び」と「協働的な学び」というのは、文科省から、学習指導要領が新しくなりまして、こういうことでそれぞれの学校で取り組んでくれということで方針が出ました。</p> <p>今までは例えば、一例ですけれども、一斉事業というか、講義形式というか、いろいろな形で共通的なもので授業をやってきたのだけれども、その授業の中でもいろいろな能力を持った子がいるので、タブレット等を使いながら、その子どもたちに合った、うまく能力を引き出す授業をこれからはやっていこうではないかと。これはなかなか難しいことなのですけれども、一人一人に合った授業をやっていきましょう。そして、一人も取りこぼさないような授業もやっていきましょう。したがって、得意な子もいれば不得意な子もいるのですけれども、その子ども一人一人にきちんと最適な学びを考えながらやっていきましょう。</p> <p>そして個別だけではなくて、集団でいろいろなことを考えたり教え合ったりというのも大事なことです。これから社会に出ていくことを考えると、そういうふうに「協働的な学び」も取り入れながらこれからの授業を展開していきましょう、学校の取組を展開していきましょうということだと思います。</p> <p>ビジョン1のこれからの教育に関しては、個に応じた学びをしっかりとやりながら、協働的にみんなで教え合いながらやっていくと。それを柔軟的に、いろいろなことでやっていきましょうというところのビジョン1の目標です。</p> <p>そのためには、学校としては主体的、対話的というか、講義一辺倒ではなくて、子どもたちに考えさせる授業をしていきますよと。いろいろなことを考えて、いろいろなことが考えられて自分の意見を述べて、いろいろなことに取り組めるように、学校としても、行事とかいろいろなことを含めてやっていきましょうということで教育目標Ⅱ。</p> <p>目標Ⅲに関しては、教職員あるいは支援者がいろいろなことを考える上では、使い勝手というのがありますので、そういったことを意識しな</p>

	<p>がら学校づくりをしていければというところだと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>それにもちょっと関連することなのですが、僕らが今まで学校教育に携わっていて、学校というところは器は立派にあるのですよ。だけど、実際に子どもたちが学習するときに「これがあるといいんだけどな」「不便だな」と感じたりする場面とか、さっきのタブレットなんかは典型的な例で、子どもによっては黒板を見るのがすごくつらい子がいるのです。「識字」という言葉もあるのですが、字が苦手という子もいるのです。耳から入ってきたほうがいいよという子もいるし、それこそパソコンを使ったほうがいいという場合もあるし、多様な学習の取組方があるはずなのです。だけど、今までの学校の中では、「これを使いたい」といったときに、使えるものがないのです。駄目だったということが多いのですね。</p> <p>今回タブレットの職務が入ってきたというのは、今まで僕らが考えていた「不便だな」という部分の一部が解消されてきたかなと思うのです。</p> <p>よく学校づくりをやるときに僕らがイメージするのは、教室に行くと、黒板があって、チョークがあって、椅子があって、マイクがあつてと、いろいろイメージしますよね。そういうようなものはある面「標準装備」ですよね。だけど、学校の中で今必要なことというのは、標準以外の装備で付着できるものではないのかなというのです。それをやっていくために、後からくつついたのはW i - F i 環境です。これは 70 年前とか 50 年前には存在しなかったのですね。</p> <p>それから、英語教育をやろうというので、ヘッドフォンをつけてカセットテープを流しながら、先生が英語をしゃべっていくというリスニングルームみたいなものがあつたのです。だけど、今時そんなものはないのですね。それがなくなって、パソコン室になりました。</p> <p>パソコン室は、今度タブレット端末に代わりましたから、ただの空き部屋ですよね。いろいろ工夫するのですが、そうやってコロコロと変わってってしまう場面があるわけです。だから、それに対応できるような。別に変わることは当たり前のことだから何ら問題ないのですが、どの程度の標準装備以上のものが新しい学校につくのかなというのがちょっと楽しみなのです。</p> <p>何がこれから起きるか分からないけれども、多分 I C T 関係の延長線上の中に出てくるものかなとは思っています。巨大なスクリーンだとか、</p>

	<p>何かあるかなという感じですよ。そんなイメージが湧いたらいいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>これからは確実にICT環境を意識しながら、学校づくりというのは欠かせないかなと。今3つに分けた地域に関しても、これから話し合いにはなると思いますけれども、地域の人材、地域の力をどう入れていくか。あるいは震災救援所のように、地域とともにどういうふうに学校が関わっていけばいいのかというところが確実に必要になってくると思いますので、いろいろなところを具体的に話し合いながら、「ビジョン」と「目標」を掲げながらやっていくしかないかなと思います。</p> <p>どうでしょうか。2番の環境とか安全についての「ビジョン」「目標」がありますけれども、これについて何かありますでしょうか。なかなか難しいとは思いますが。</p> <p>では、「ビジョン」と「目標」は今ご意見も出たので、このたたき台の中で今のご意見を参考にしながら再度検討して、また出していただくということでよろしくをお願いします。</p> <p>そして少し具体的にはなりますけれども、その「ビジョン」「目標」を受けてこういう取組ができれば、こういう取組を考えられた学校、配置、いろいろなことを考えていければということなのですからけれども、その「取組」に関していかがでしょうか。</p> <p>「取組」に関しては少し具体的になっていますので、いろいろご意見を頂ければ大変ありがたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今、子どもが成長するには人との関わりがとても大事だと思うのですが、和泉学園とか高円寺とか天沼とかでは小中がかなり交流しているというお話を聞きました。</p> <p>こちらですと近くの5つの小学校から大体ここに入って、いろいろな環境の違うところから入った小学生が一緒になってやるということで、より成長が高められていると思うのですが、残念ながら小学生が神明祭などでつないでいったりしなければ、学校見学とかもあるのですが、わざわざ来ないと来られない部分があるのです。</p> <p>例えば図書館でもペーパーレスの時代ですし、ネットでつながっていけば国会図書館のものも見られるということで、配置なんかも工夫して、例えば仕事でもワーキングスペースとか、フリーアドレスになっていたりして、いろいろなことに使える大きい部屋があったり、小さい部屋があったり、中ぐらいの部屋があったりとかして、そういう交流が安全にできるようなつくりをしていただければ、小学生も保護者が連れて</p>

	<p>きて置いていっても安全みたいな部分で交流ができる。あるいは地域の人が入って見てくださっていることも、恒常的に、日常的にできる環境が整うようなつくりにしていただけるといいのではないかなと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>例えば取組Bは「学校図書館を中心としたラーニングセンター」とありますけれども、中学校だけではなくて、その辺は安心安全という安全面を考えたところで、どこまで地域の方というところ、小学校をどうするのかというところがもしかしたらあるかも分かりませんが、その辺を考えながら、神明中としては、いろいろな小学校から来ますので、そういう意味では、そういう考え方も1つとても大事なかなと思います。</p> <p>ほかはいかがでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>第1回目のときも同じようなことを言ったのですが、昔ここで学んだ60年前とこれからの60年後というのは、大分世の中が変わっていると思うのですよ。学校の形態も大分変わるのではないかと。60年前と今は、中学校の役目は根本的にはほとんど変わりませんよね。それがこれからの60年後は大分変わってくる可能性があると思います。</p> <p>そういうことで、ここに書いてあるようなビジョン1、目標Ⅱ、取組Dなのですが、今現在の環境というか、固定観念に捉われずもっとフリーに、自由な発想で考えたほうが良いと思います。</p> <p>自由というのは時代によって変わってきますから、その時代時代に応じて変えられるような施設にする。簡単に言うと、ここに壁を造るのではなくて、壁を移動できるような形にするとか、簡単な例ですが、そういうことがいいのではないかと思います。以上です。</p>
委員	<p>例えば今のは取組Dとか、地域のニーズあるいは教育の方法に柔軟に対応していくというか、将来の学級数の変化とか、いろいろなことを考えながらというところにもつながるかなと思います。</p> <p>今のご意見に関してはどうでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見をありがとうございます。</p> <p>例えば最近の校舎のつくり方ですと、壁もコンクリートではなくて、躯体はちゃんとやった上で壊しやすい乾式の壁などにして、その後の変化に応じて改修しやすいようなつくりにしたりすることはあります。おっしゃるとおり、そういう考え方を踏まえて今後計画はして</p>

	いきたいと考えているところです。
委員	ほかに、お願いします。
委員	<p>「ビジョン」「目標」のところに戻ってしまうのですが、ビジョン1は学習とか教育そのものに関するビジョンで、2が環境、3が地域という形で3つに分けられていると思います。</p> <p>例えば「地域と共に行動する」、これを学習とか教育に生かしていくという形、またそれに対応できるような設備設計みたいなものを考えることが重要ではないかという気がします。</p> <p>この3つの形の中に、今私が言ったようなことが含まれているのかどうかというのがいま一つ分からない。できれば、そういう考え方というのをⅣに入れられないかなと思いました。</p>
委員	ありがとうございます。どうでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見をありがとうございます。</p> <p>そういったお考えを踏まえて、考え直したいなとは思いますが、分かりやすくするためにこのような階層構造と分類している部分もありますので、地域の部分が全く教育に関係がないとか、そういうわけではないので、そこを踏まえた形で表現については考えたいと思います。</p>
委員	<p>今の「学びのプラットフォーム」というオーソドックスな言葉の中に含まれているかなと。「学びのプラットフォーム」というのは、学校として地域の方もみんなも関わりながら、学校を「学びのプラットフォーム」という形で地域にも還元しながら、地域からも学校というところに入っているかも分かりませんが、もう少し具体性を持たせたほうがもしかしたらはっきりしていくかなというところはあると思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>取組とかいろいろなことを含めて、いかがでしょうか。今、学習のことがいろいろありましたけれども、防災とかいろいろなことを含めていかがでしょうか。取組とかに関して、この辺のところを意識してもいいのではないかと。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	あまり関係ないかもしれないのですが、私が中学生のときに屋上って結構自由に行けたのですよね。でも、今、学校の屋上がどうなっているのか分からないのですけれども、事故が多いということで、小学校にも自由に行けなくなったし、中学校はどうなっているのか。それから、新しく建てる学校がどうなるのか、状況が全然分からないのですけれども、屋上はすごくいい空間だと思うのですよね。安全で憩いの場に

	<p>なるというか、ちょっと気分転換できるというか、そういう意味でもせっかくなところは緑が多いので、そういったことが何かできないのかとちょっと感じました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。現在、神明中は屋上の出入りは禁止です。例えば屋上で、ごみ捨てとかいろいろなものときは、ボランティア部というのがあって、教員がついて子どもたちが活動している。</p> <p>杉並も屋上での事故があったりとか、そういうことがあって、命を守るということに関して、自由に出入りするというのは今のところ難しい状況ではあるのかなと思います。今、神明中はそういう状態です。</p>
委員	<p>高さ制限があって、今度は4階が建てられないのですよね。そうしたら、低くなるのだったら、それを考えて屋上とかを工夫していただいたらいいのではないかとちょっと感じました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見をありがとうございます。</p> <p>アンケートの中でも、今4階からの景色がすごくいいとか、そういうご意見もございましたので、今後の計画の中で、そういった景観等にも配慮できる建て方ができるのかというのを設計事務所さんとも相談しながら、提案していければと考えています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>今、実際に、4階からは冬になると富士山が見えます。</p>
委員	<p>私たちのときは、屋上で馬乗りをやったりとかいろいろなことをやっていたのです。いい交流の場所になっていたのです。</p>
委員	<p>そうですね。ありがとうございます。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	<p>今、お話がありましたが、実は私、先週国立科学博物館に行きまして、あの博物館は上から出られるのです。屋上が開放されていて、ベンチがあって、緑があって、すごくいい雰囲気、親子連れがたくさんいました。リラックスしました。</p> <p>確かに私が中学生のころは荒れていましたし、屋上に行けなくなったりした事情はそういうのがあるのかなと想像したりするのですが、今、神明中のお子さんは皆さんいい子ばかりだと思いますので、ぜひ屋上を使ってリフレッシュできる、またいろいろ考え事ができる、思索ができるようになるといいかなと思います。</p> <p>また、前回プールの話も出たと思うのですがけれども、高さ制限があるのであれば例えば地下というか、プールを体育館の地下につくって、全</p>

	<p>天候型で、夏の2か月だけではなくてオールシーズン使えて、地域の核として。人生100年時代ですから地域の方が日曜日なんかに来て、プールで歩いたり泳いだりできるような。そうすると健康寿命も長くなりますし、もしかしたら医療費も下がっていくかもしれませんし、一石二鳥、三鳥、四鳥なのかなと思ったりもします。そういったことも考えていただけたらいいかなと思いました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。ちょっと具体的にはなってきたのですが、どうでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後配置を第4回、5回等で提示することになるかと思うのですが、これまでも申し上げているとおりに校地がかなり不整形で、なかなか厳しいところもあります。その辺りを踏まえてどういったことができるのかということをご提案し、ご意見を頂ければと考えていますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>今のご意見は、地域の方も使えるようなというか、そういうものも含まれていたと思いますけれども、その辺はこれからいろいろ、予算とかいろいろなことがあるかも分かりませんが、考えていかなければいけないところだと思います。どうもありがとうございます。</p> <p>ほかはいかがでしょう。</p>
委員	<p>このビジョンに関しまして3項目ありますけれども、もうちょっと集中的に分けてやったほうがいいのではないかと思います。あれこれつながっている点もありますけれども、もうちょっと具体的にできるように、時間を取ってやっていただければいいのではないかと思います。</p> <p>それから、先ほど他の委員からもお話がありました、この町内会で神明中学校の震災救援所を運営しているわけなのですが、震災救援所のほうでもいろいろ要望とか、お願いするようにまとめているので、ぜひそういうところも参考にさせていただいて、いい学校ができればいいのではないかと思います。</p> <p>また共用関係につきましては、私も運営委員会に関係していますけれども、意見を出していただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>司会の不手際で全部大ざっぱになってしまいましたけれども、時間的なこともあるので、時間の許す限り。教育に関しては、今ご意見をいろいろ伺ったかなと思っています。</p> <p>ビジョン2の環境、安全に関してはいかがでしょうか。教育と地域、</p>

	<p>震災救援所、防災の件に関しては出ていると思いますが、どうでしょうか。環境、安全に関してというところで、何かありますでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
委員	<p>何年かここで校長をやっている気づいたことなのですけども、大変穏やかな閑静な住宅街の中であって、僕らが今年初めて気づいたのは、済美教育センターにクレーム電話がかかってきたのですね。何かというと、砂煙なのです。校庭の砂煙が、近隣の方に相当ご迷惑をかけている感じですよ。</p> <p>学校前のおうちにいらっしゃる方は気の毒で、前任校の場合も洗濯物が干せないとおっしゃるのですね。何しろぶわーとかかってしまって大騒ぎになってしまうという話が1点。</p> <p>それから、杉並区のシンボルツリーであるアケボノスギが秋になると見事に枯れて、いっぱい落ちてくるのですね。それがみんなとくに引っかけかかってしまって、ご近所の方は大変な騒ぎになるのですね。</p> <p>そういうふうにも子どもにとってプラスであろうと思われることであっても、まちの方たちにとっては大変なことが結構あるのですよ。その辺のところのポイントかなと思います。</p> <p>それから、よくあるケースが、せっかくいい施設ができたから夜間に開放しようと言って、夜間照明をつけます。一見、夜間照明をつけるとみんなが利用できてよさそうに思うのですけれども、実は周りの方たちにとっては夜9時過ぎまでこうこうと明かりが外に出ているというのも、住宅街の中での環境としてはあまりよろしくないと思います。ですから、そんなようなものをコントロールできないのかなと思いました。</p> <p>逆にそういう環境だから、先ほどの話ではないですけども、僕がいたところは屋上で天体観測会をやるのですよ。抜群にいいですよ。周りは低層住宅ですから、学校だけがなくて、周りの環境がすごくいいのでいっぱい見えます。ちなみに、僕はここで土星の輪っかを初めて見ました。</p> <p>そんなこともできるような環境にはあるから、環境との調和というのでしょうか、そこのところも考えてあげてもいいかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>どうでしょうか。保護者の方から見た学校の安心安全というか、そういうふうなことで何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>外から見たり、あと神明祭で伺ったりとか、そういったときの印象でしかないですけども、閑静な住宅街の中で、確かに今おっしゃって</p>

	<p>たような土ぼこりというのですかね、被害というのは、生徒たちが授業をしていても、学校の校庭は水はけも悪いですし、砂ぼこりも起きるし、すごく大変だというのは多分どこも一緒だと思うのです。そういった周りにも配慮しながら、生徒たちにももちろん配慮できる配置というか、していただけるといいのかなと思いました。</p> <p>あと震災のことに関しまして、プールがどうなるかというのもありますけれども、プールがもしなくなった場合に、校庭の地下などに防火水槽とか、そういった震災のときの備えというのも大事だと思います。</p> <p>あとマンホールトイレといったものの設置も道路沿いとかではなくて、なるべく使用する場合に配慮できるような場所。そしてあまり目につかない場所だと、本当に震災救援所として使われたときに安全を考えると難しいと思うので、安全な場所を選んで設定できるといいなと思いました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。急に振って申し訳ございませんでした。</p> <p>周辺と調和した学校ということで、どうですか。</p>
委員	<p>今、環境のことで、「神明の杜」にふさわしいということでフレーズ的にはすごくいいなとか、ビジョン3の「学びのプラットフォーム」とか、一言で何となく分かってくるというので、使い方は感心して聞かせていただいております。</p> <p>ビジョン2の「神明の杜」というのが、隣に天祖神社があるということで、その環境を生かした学校づくりということで前のところにも出ておりました。</p> <p>先ほどありましたように、自然はいいのですが、その対処法が大変だよという話ですね。現在、天祖神社は全て廊下側であったり、閉ざされた感じになっておりまして、見えない感じになっています。これをどう生かすかということですが、かなりうっそうと茂っております。</p> <p>さっき発表されたアンケートにもありましたが、虫が半端ないですし、秋になりますと落ち葉。私がPTAのときは、秋はしょっちゅう行って掃いて、お手伝いをしてという活動もありました。それをよしとするか、悪とするかというのがありますけれども、どこまで「神明の杜」というものを大事にして、どこまで合理的に考えるかということも、この「ビジョン」の中で見ていかれたほうがいいのではないかと。それが「目標」や「取組」につながって行って、また後ほどのハード的な設計に入ったときに生かされていけばいいなと思います。</p> <p>以上です。</p>

委員	<p>ありがとうございます。神社が隣にありますので、緑やいろいろなところは校舎とのバランスというか、考えていかなければいけないところはあるかも分かりませんので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>最後にビジョン3の地域のところで防災というところがありますけれども、その辺のところはどうですか。「地域の防災拠点としての十分な機能を備えた施設整備」という文言も入っていますけれども、どうでしょう。</p>
委員	<p>防災で、今いろいろな要望とか、そういうものを代表の方にまとめていただいています。ですから、それはここであれであるかどうか分かりませんが、直接していただくかも分かりませんが、ぜひひとつ検討していただければと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>神明中の震災救援所として、新校舎ができたときの防災の意見をまとめて役所に提出ということもあります。そういうものも見ていただいて、意識しながらいろいろ入れていただくというところで。</p> <p>この「基本方針（たたき台）」の議論が始まってから結構1時間近くなってしまったので、どうでしょうか。今のご意見を参考にしながら、また少し手直しとかをしていただいて、基本方針の案を出していただくということでいかかでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>では、そういう形にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。司会の不手際でいろいろ申し訳なかったですけれども、ご協力をどうもありがとうございます。</p> <p>それでは、この議論の最後に学識経験者の方からそれぞれ一言コメントを頂ければと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>暑い中、熱心な議論をありがとうございました。今日は「ビジョン」「目標」「取組」ですか、「改築基本方針（たたき台）」の検討ということで、「ビジョン」とか「目標」はかなり概念的なものが多くて、議論しにくいところがあったのかなと思いましたけれども、さすが皆さん、貴重な意見等が出てきたのかなと感じました。</p> <p>ビジョン1、2、3、それぞれ最近の教育課題ですとか動向を踏まえて、担当者のほうで工夫しながら文言をまとめられたのかなと感じました。ビジョン2の「『神明の杜』にふさわしい、環境に優しく」という文章のところですが、前回、1回目のときに、ここは神明宮の隣にあるという、その特徴を生かしていろいろ検討するとユニークな学校づくりができるのではなかろうかというご指摘があったと思います。その言葉にイメージがつながるビジョンで、「神明の杜」にふさわしい学校づく</p>

りは今後の計画を進めていく上で、すごく参考になるビジョンなのかなと私は感じました。

それから、冒頭に、ご意見を頂いた方の中から、地域と学校の関わりの今後についてということでご意見がありました。

これからの学校というのは、地域との関わりなしには存在しない状況になっていくのだろうと思います。それは単に防災拠点ということだけではなくて、いろいろな学校の教育活動とか、あるいは逆に地域の町会の活動等においても、学校あるいは子どもたちとの関係をどうつくるかというのが大きな課題になっていくのだろうと思っています。

そういう観点で出された意見として考えていくと、確かにそれぞれすごくいいビジョンだなと思うのですけれども、地域との関わりというあたりをもっと出してもいいのかなという感じがしました。目標のところに「地域の防災拠点として」という言葉はあるのですが、ほかのところはそれぞれ、取組のところにも地域との交流とか出ています。

これはまた最後にいろいろ今日のご意見を参考にして検討されるということでしたので、私がちょっと思ったのは、3の「学びのプラットフォーム」というところに、例えば「学校と地域の学びのプラットフォーム」というような形で入れて、地域に開かれるのは当たり前といえば当たり前ですから、「地域と共に行動する学校」というふうにすることもできるのかと思ったり、あるいは目標VIの「学校の伝統と特色を活かし」云々のところに、ここに地域との交流とか連携とかいうことを入れると、また地域との連携の色彩というか、願いが強くアピールできるのかと思ったりもしました。いずれにしてもいろいろな意見が今日出ましたので、それを参考に今後また検討していただければと思いました。

それから、そのほかに小中の交流で、ネット等の環境をもっと整備して、行ったり来たりしなくて交流ができたらいいのではないかというのは、本当にそのとおりだなと思いました。こういうことが実現できると、また違った未来が見えてくる気がします。

それから、屋上の活用も本当に大切な視点だと思いますけれども、これは予算との関係ですとか安全性の確保となると、またかなりいろいろな費用もかかるという問題もあるでしょうし、私が見たところでは、屋上でビオトープ等を設置して活用するというところで取り組んだけれども、結局長続きしないで閉鎖になっているという状況も見たりしました。そういう点も踏まえて、屋上の活用というのはまた新しい視点からいろいろ考えていくことが大切なのかなと思いました。

	<p>そのほか貴重な意見がたくさんあったと思いますので、ぜひこれを次の回以降に生かしていただければと思います。以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>大変貴重なご意見を皆さんから伺って考えますけれども、地域との結びつきは、言うは易しで、なかなかどういうイメージなのかというのをクリアに描き出して、切り開いていくのはそう簡単ではないなと思ったのですが、実際に皆さんの中でどんなニーズがあるのか、どんな期待があるのか、あるいはこれまで、何が特徴として、この神明中で行われているのかというのをもっと知りたいなと思いながら伺いました。</p> <p>まちの中に学校があるというスタンスが重要だというお話とか、今、おっしゃったようなもっともっと地域のことをダイナミックにビジョンの中でうたうことができるのではないかという話を伺っていて、私は東京におけるいろいろな小学校の歴史も調べたことがありますけれども、特に面白いと思ったのは、震災復興です。</p> <p>昭和初期ですけれども、関東大震災後の復興の時期に、東京市の小学校が都心、下町に52か所できたのですけれども、小公園とリンクしていて、コミュニティーの復興のシンボルだったのですね。鉄筋コンクリートで防災拠点で、校庭と小公園がつながっていて、場合によっては公園の中の緑、これがまたプラタナスとか、いろいろな緑があって、小学生は植物観察ができる。公園は小学生が昼間使うことができる。逆に、校庭は住民がまた使うことができる。フェンスでさくをしているのですけれども、融通無碍に使える。意識として、下町のコミュニティーの中心として小学校があるという姿を上手につくり出したのですね。公園では限界がある。</p> <p>それから、例えばいろいろなところで聞きますけれども、盆踊りをやっている小学校の校庭もありますよね。泰明小学校という有名な震災復興小学校が銀座にあって、銀座の名門なので、いろいろ旦那衆の息子たちはみんなそこで勉強したとか、名門です。そこは中央区のいろいろな催し物とリンクして、アーティストの作品を1年に一遍か二遍ですけれども、そこで展示して、アートの発信拠点にしているのですね。そういうのを小学生が見て一緒に体験するという事は、単に決まっているプログラムの教育の中で教わること以上のいろいろな刺激を得るチャンスにもなるのではないかとも思いました。</p> <p>それから屋上が使えなくなってしまったというのはいろいろな理由があると思うのですけれども、大体今全体的に安全ということが重視さ</p>

れ、事故が起きる危険性、誰が責任を取るのかということになって、例えば似たような問題としては、水辺に近づきにくくなる、さくができる。できるだけ水辺に行くなという教育をする。そうやってだんだん自分たちで縛りをしていかなければいけない文化風土というか、社会風土がいま日本の中にあるわけです。

安全性をいろいろな形で確保しながら、しかも今度4階建てが3階建てになるのですか、その辺はよく分かりませんが。本当に皆さんがおっしゃるとおり、屋上の利用というのは今まで、特に近代、昭和の初めぐらいからデパートの屋上でもやっていたし、同潤会アパートメントハウスというのが下町にいっぱいできたのですけれども、それはみんな屋上をうまく使っているのですよね。狭い限られた都会の中では、非常に重要な資源だと思います。それがうまく活用できて、安全が保障されればすごくいいのではないかと思います。

それと、ビジョン2とビジョン3に絡むのでしょうかけれども、教育と環境をつなげていく、1と2をつなげていく方法があるのではないかとのご指摘もありました。

例えば神社そのものも環境の学習の対象になるのでしょうかけれども、かつて杉並区で「知る区ロード」というイベントをやっていたのですよね。これは大変面白かったのですけれども、町の中にいろいろな歴史があったり、面白いオブジェがいっぱいあったり、みんなにまちや環境に関心を持ってもらう。町というのはある意味で全部エコミュージアムみたいなものですから、そこに出かけて行って先生と一緒に観察する、レポートするみたいな。

例えばミュージアムみたいなところには皆さん行くと思います。僕も中央区の郷土天文館というミュージアムの館長をやっているのですから、よく児童が先生に連れられてきます。それはそれで1つのパターンで確立しているのですけれども、もうちょっといろいろなところに行って、保育園の子どもたちがあちこち行って遊んでくるとはいかないでしょうけれども、まちの中、地域の中に入って自然観察をしてみるとか、そういうふうにして地域とまちが連動するというやり方もあると思います。

それと神明中学の周りは非常に落ち着いた住宅地ということで高い評価があるわけですが、だんだん町のこういうところにも、住宅地にサロンができていますよね。キッチンがあって人が集まれるような、催し物がやれるような交流の場が生まれている。どうもそういうニーズが社会の中にある。そういう役割をもうちょっと大規模に工夫しながら学

	<p>校というところが受ける、やるということは非常に重要ではないかと。</p> <p>日本のコミュニティーがどんどん解体しているという言い方をするわけですが、学校というのは人と人を結びつけ、教育を通じてということが非常に重要だと思いますが、本当にコミュニティーの中で核ができる。そういう結束があれば、防災にも一番強いですね。そういう意味で複合的、だから、1、2、3は分かれているのだけれども連携しているみたいな、そういうダイナミックなプログラムにまとまっていくといいなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日出されたご意見を事務局でまとめていただいて、第4回の懇談会で、懇談会として出た意見がまとまるような議論ができたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>次に、事務局から連絡事項をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>皆さん、ご議論をありがとうございました。進行につきましては事務局の不手際で、校長先生ではありませんので、どうも申し訳ございませんでした。</p> <p>今回の計画地の概要ですとか、本日頂いたご意見を踏まえまして、第4回の懇談会で改築基本方針の案としてお出しするのと、校舎の配置計画案もご提示することを考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>もう1点なのですが、次回の第3回は視察を予定しております。日程が変更になり、8月5日金曜日の午後を予定しております。場所は井草中を予定しております、詳細につきましては後日通知文でお送りいたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>第1回議事録を先日お送りさせていただきましたので、もし修正等がある場合はご連絡を頂ければと思います。</p> <p>最後になりますが、改築ニュースを7月には発行したいと考えております。配布、回覧等ご協力いただければと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>最後に、学校整備担当部長から挨拶をよろしくお願いいたします。</p>
学校整備担当 部長	<p>学校整備担当部長でございます。本日は熱いご議論、本当にありがとうございました。</p> <p>私ども、この間、学校改築の経験が幾つかありますので、1回目に頂いた皆さんのご意見を何とかまとめて、うまく体系化ができたかなと思って今日お出ししたのですが、やはり地域を知る皆さんのご意見を伺う</p>

	<p>と、さらに様々な付け加えていかなければいけないキーワードがたくさん出てきたと思っています。</p> <p>例えば地域ですとか、神明の杜、さらには防災、屋上、様々なヒントになるような言葉を頂きましたので、これを付け加えて、さらに肉厚の改築基本方針にしていきたいと思っています。</p> <p>それからもう1点、本日の議論に直接関係はございませんが、皆さんご存じのとおり、区長選挙が終わりました。7月11日から区長が代わります。私ども教育委員会も、この学校改築だけではないですが、教育委員会の課題について一つ一つ新区長に丁寧にご説明をしまいたいと思っていますのでございます。</p> <p>何よりも新区長、地域の声を聞いて地域とともに仕事を進めることが柱だと聞いてございます。</p> <p>もちろん神明中改築の必要性については地域の皆さんの期待が大きいのということは、直接私も新区長にお話をする機会が頂けそうなので、しっかりと訴えていきながら進めていきたいと思っていますので。私からは以上です。ありがとうございました。</p>
委員	<p>それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございました。</p>